

種山久翁

(おほやまひさ)

舊佐上原藩士。

天保二年自向國生れ、明治四十五

年二月十四日歿(六三二一九二)。

通稱岩記、

舎人。

嘉永六年島津忠寛

の仕へ、藩政の籌る。佐久間象山の西洋兵學を學び、洋式軍備の志實

の努めた。文久三年薩英戦争に従軍、戊辰戦には東海道口進撃軍總指揮

として出征。明治二年佐上原藩權大參事、のち上京して板倉等参府に

編書『たむけのゆ』(明治二十一年八月十五日刊)等。